

行	歌 番号	百人一首 (上段が上の句、下段が下の句)	語呂合わせ	決まり
あ行 あ17首 い3首 う2首 お5首	79	あきか ぜに たなびくくもの たえまより もれいつるつきの かげのさやけさ	秋風がもれる	三字 決まり
	1	あきの たの かりほのいほの とまをあらみ わがころもでは つゆにぬれつつ	秋の我が衣	三字 決まり
	52	あけ ぬれば くるるものとは しりながら なほうらめしき あさぼらけかな	明け、なお恨めし	二字 決まり
	39	あさぢ ふの をののしのはら しのぶれど あまりてなどか ひとのこひしき	朝、十のあまり	三字 決まり
	31	あさぼらけ あ りあけのつきと みるまでに よしののさとに ふれるしらゆき	あさぼらけあふれる (朝ぼらけ、溢れる)	六字 決まり
	64	あさぼらけ う ぢのかはぎり たえだえに あらはれわたる せぜのあじろぎ	朝ぼらけ鶴、現れる	六字 決まり
	3	あし びきの やまどりののをの しだりをの ながながしよを ひとりかもねむ	足、長々	二字 決まり
	78	あはぢ しま かよふちどりの なくこゑに いくよれざめぬ すまのせきもり	淡路島、行くよ	三字 決まり
	45	あはれ とも いふべきひとは おもほえで みのいたづらに なりぬべきかな	哀れ、身のいたずら	三字 決まり
	43	あひ みての のちのところに くらぶれば むかしはものを おもはざりけり	愛は昔	二字 決まり
	44	あふ ことの たえてしなくば なかなかに ひとをもみをも うらみざらまし	会うこと、人と	三字 決まり
	12	あまつ かぜ くものかよひぢ ふきとぢよ をとめのすがた しばしとどめむ	あまつ おとめ (天津 乙女)	三字 決まり
	7	あま のはら ふりさけみれば かすがなる みかさのやまに いでしつきかも	あまの みかさ	三字 決まり
	56	あら ざらむ このよのほかの おもひでに いまひとたびの あふこともがな	あらざき いま	三字 決まり
	69	あら しふく みむろのやまの もみぢばは たつたのかはの にしきなりけり	嵐が立つ	三字 決まり
	30	あり あけの つれなくみえし わかれより あかつきばかり うきものはなし	有明のあかつき	三字 決まり
	58	あり まやま ゐなのささはら かせふけば いでそよひとを わすれやはする	有馬、痛	三字 決まり
	61	いに しへの ならのみやこの やへざくら けふこのへに にほひぬるかな	いに、けふこ	二字 決まり
	21	いま こむと いひしばかりに ながつきの ありあけのつきを まちいでつるかな	今子、あり	三字 決まり
	63	いま はただ おもひたえなむ とばかりを ひとつてならで いふよしもがな	今は、ひとつ	三字 決まり
74	う かりける ひとをはつせの やまおろしよ はげしかれとは いのらぬものを	うか、はげ (うっかりハゲ)	二字 決まり	

行	歌 番号	百人一首 (上段が上の句、下段が下の句)	語呂合わせ	決まり
あ行 あ17首 い3首 う2首 お5首	65	う らみわび ほさぬそでだに あるものを こひにくちなむ なこそをしけれ	恨み恋に朽ちる	二字 決まり
	5	お くやまに もみぢふみわけ なくしかの こゑきくときぞ あきはかなしき	奥から声	二字 決まり
	72	お とにきく たかしのはまの あだなみは かけじやそでの ぬれもこそすれ	音、欠ける	二字 決まり
	60	おほえ やま いくののみちの とほければ まだふみもみず あまのはしだて	大江、まだ～	三字 決まり
	95	おほけ なく うきよのたみに おほふかな わがたつそまに すみぞめのそで	OK、分かった	三字 決まり
	82	おも ひわび さてもいのちは あるものを うきにたへぬは なみだなりけり	重い浮き	二字 決まり
か行 か4首 き3首 こ6首	51	か くとだに えやはいぶきの さしもぐさ さしもしらじな もゆるおもひを	かく、さし (角、指し)	二字 決まり
	6	かさ さぎの わたせるはしに おくしもの しろきをみれば よぞふけにける	傘が白い	二字 決まり
	98	かぜ そよく ならのをがはの ゆふぐれは みそぎぞなつの しろしなりける	風そよく、みそ	三字 決まり
	48	かぜ をいたみ いはうつなみの おのれのみ くだけてものを おもふころかな	風を、くだけ	三字 決まり
	15	きみがため はるののにいでて わかなつむ わがころもでに ゆきはふりつつ	君がため春の我が衣	六字 決まり
	50	きみがため をしからざりし いのちさへ ながくもがなと おもひけるかな	黄身固めを長く	六字 決まり
	91	きり ぎりす なくやしもよの さむしろに ころもかたしき ひとりかもねむ	霧の衣	二字 決まり
	29	こころ あてに をらばやをらむ はつしもの おきまどはせる しらぎくのはな	こころあおき (心青き)	四字 決まり
	68	こころ にも あらでうきよに ながらへば こひしかるべき よはのつきかな	心に、恋しがる	四字 決まり
	97	こぬ ひとを まつほのうらの ゆふなぎに やくやもしほの みもこがれつつ	来ぬ人を妬く	二字 決まり
	24	この たびは ぬさもとりあへず たむけやま もみぢのにしき かみのまにまに	この、紅葉	二字 決まり
	41	こひ すてふ わがなはまだき たちにけり ひとしれずこそ おもひそめしか	恋する人	二字 決まり
10	これ やこの ゆくもかへるも わかれては しるもしらぬも あふさかのせき	コレや！知る	二字 決まり	
さ行 さ1首 し2首	70	さ びしさに やどをたちいでて ながむれば いづこもおなじ あきのゆふぐれ	サイズ	一字 決まり
	40	し のぶれど いろにいでにけり わがこひは ものやおもふと ひとのとふまで	しのもの (市の物)	二字 決まり

行	歌 番号	百人一首 (上段が上の句、下段が下の句)	語呂合わせ	決まり
さ行 し2首 す1首 せ1首	37	しらつゆに かぜのふきしく あきののは つらぬきとめぬ たまぞちりける	しらけたつら	二字 決まり
	18	すみのえの きしによるなみ よるさへや ゆめのかよひぢ ひとめよくらむ	酔の夢	一字 決まり
	77	せをはやみ いはにせかるる たきがはの われてもすゑに あはむとぞおもふ	背、割れて	一字 決まり
た行 た6首 ち3首 つ2首	73	たかさごの をのへのさくら さきにけり とやまのかすみ たたずもあらなむ	鷹と山	二字 決まり
	55	たきのおとは たえてひさしく なりぬれど なこそながれて なほきこえけれ	滝の名	二字 決まり
	4	たごのうらに うちいでてみれば しるたへの ふじのたかねに ゆきはふりつつ	田子富士	二字 決まり
	16	たちわかれ いなばのやまの みねにおふる まつとしきかば いまかへりこむ	立ち松	二字 決まり
	89	たまのをよ たえなばたえね ながらへば しのぶることの よわりもぞする	たましいの (魂の)	二字 決まり
	34	たれをかも しるひとにせむ たかさごの まつもむかしの ともならなくに	垂れ松	二字 決まり
	75	ちぎりおきし させもがつゆを いのちにて あはれことしの あきもいぬめり	ちぎりをあわれむ	四字 決まり
	42	ちぎりきな かたみにそでを しぼりつつ すゑのまつやま なみこさじとは	ちぎりき、末の松 (契り木、末の松)	四字 決まり
	17	ちはやぶる かみよもきかず たつたがは からくれなゐに みづくくるとは	血はからく	二字 決まり
	23	つきみれば ちぢにもものこそ かなしけれ わがみひとつの あきにはあらねど	月は我が身	二字 決まり
13	つくばねの みねよりおつる みなのがは こひぞつもりて ふちとなりぬる	つくばの恋	二字 決まり	
な行 な8首	80	ながから こころもしらず くるかみの みだれてけさは ものをこそおもへ	長髪、乱れて	三字 決まり
	84	ながらへば またこのごろや しのばれむ うしとみしよぞ いまはこひしき	ながら牛	三字 決まり
	53	なげきつつ ひとりぬるよの あくるまは いかにひさしき ものとかはしる	嘆きイカ	三字 決まり
	86	なげけとて つきやはものを おもはする かこちがほなる わがなみだかな	嘆け！過去を	三字 決まり
	36	なつのよは まだよひながら あけぬるを くものいづこに つきやどるらむ	夏雲	二字 決まり
	25	なにしおはば あふさかやまの さねかつら ひとにしられで くるよしもがな	なにし、ひとにし	三字 決まり
	88	なにはえの あしのかりねの ひとよゆゑ みをつくしてや こひわたるべき	なにはへ身を尽くす	四字 決まり

行	歌 番号	百人一首 (上段が上の句、下段が下の句)	語呂合わせ	決まり
な行 な 8首	19	なにはが た みじかきあしの ふしのまも あはでこのよを すくしてよとや	なにはが泡ふく	四字 決まり
は行 は 4首 ひ 3首 ふ 1首 ほ 1首	96	はなさ そふ あらしのにはの ゆきならで ふりゆくものは わがみなりけり	花誘う、ふり	三字 決まり
	9	はなの いろは うつりにけりな いたづらに わがみよにふる ながめせしまに	花の我が身よ	三字 決まり
	2	はるす ぎて なつきにけらし しろたへの ころもほすてふ あまのかぐやま	春過ぎて衣干す	三字 決まり
	67	はるの よの ゆめばかりなる たまくらに かひなくたたむ なこそをしけれ	春の会	三字 決まり
	33	ひさ かたの ひかりのどけき はるのひに しづこころなく はなのちるらむ	久し振り	二字 決まり
	35	ひと はいさ こころもしらず ふるさとは はなぞむかしの かににほひける	人は、話そう	三字 決まり
	99	ひと もをし ひともうらめし あぢきなく よをおもふゆゑに ものおもふみは	人も、世を思う	三字 決まり
	22	ふ くからに あきのくさきの しをるれば むべやまかぜを あらしといふらむ	踏む部屋	一字 決まり
	81	ほ ととぎす なきつるかたを ながむれば ただありあけの つきぞのこれる	ほたた～	一字 決まり
ま行 み 5首 む 1首 め 6首 も 2首	49	みか きもり 糸じのたくひの よるはもえて ひるはきえつつ ものをこそおもへ	みかき、昼は消え	三字 決まり
	27	みか のはら わきてながるる いづみがは いつみきとてか こひしかるらむ	みかの、泉	三字 決まり
	90	み せばやな をじまのあまの そでだにも ぬれにぞぬれし いろはかはらず	店は濡れ	二字 決まり
	14	み ちのくの しのぶもちずり たれゆゑに みだれそめにし われならなくに	道、乱れし	二字 決まり
	94	み よしのの やまのあきかぜ さよふけて ふるさとさむく こころもうつなり	見よ、故郷	二字 決まり
	87	む らさめの つゆもまだひぬ まきのはに きりたちのぼる あきのゆふぐれ	村の霧	一字 決まり
	57	め ぐりあひて みしやそれとも わかぬまに くもがくれにし よはのつきかな	目に雲	一字 決まり
	100	も もしきや ふるきのきばの しのぶにも なほあまりある むかしなりけり	もも、なお余る	二字 決まり
	66	も ろともに あはれとおもへ やまざくら はなよりほかに するひともなし	もろ、花よ	二字 決まり
や行 や 4首	59	や すらはで ねなましものを さよふけて かたぶくまでの つきをみしかな	やすかったふく (安かった服)	二字 決まり
	47	や へむぐら しげれるやどの さびしきに ひとこそみえね あきはきにけり	八重は人	二字 決まり

行	歌 番号	百人一首 (上段が上の句、下段が下の句)	語呂合わせ	決まり
や行 や 4首 ゆ 2首 よ 4首	32	やまが はに かぜのかけたる しがらみは ながれもあへぬ もみぢなりけり	山が流れる	三字 決まり
	28	やまざ とは ふゆぞさびしさ まさりける ひとめもくさも かれぬとおもへば	山里、ひと目もなく	三字 決まり
	71	ゆふ されば かどたのいなば おとづれて あしのまるやに あきかせぞふく	ゆうのあし	二字 決まり
	46	ゆら のとを わたるふなびと かぢをたえ ゆくへもしらぬ こひのみちかな	ゆらがゆく	二字 決まり
	93	よのなか は つねにもがもな なぎさこぐ あまのをぶねの つなでかなしも	世の中は、あまの	五字 決まり
	83	よのなか よ みちこそなけれ おもひいる やまのおくにも しかぞなくなる	世の中よ、 山の奥にも鹿	五字 決まり
	85	よも すがら ものおもふころは あげやらで ねやのひまさへ つれなかりけり	よもね屋	二字 決まり
	62	よを こめて とりのそらねは はかるとも よにあふさかの せきはゆるさじ	世を世に	二字 決まり
わ行 わ 7首 を 1首	8	わが いほは みやこのたつみ しかぞすむ よをうちやまと ひとはいふなり	我が居よ	三字 決まり
	92	わが そでは しほひにみえぬ おきのいしの ひとこそしらね かわくまもなし	我が袖、人知らね	三字 決まり
	38	わす らるる みをばおもはず ちかひてし ひとのいのちの をしくもあるかな	和すら、人の命	三字 決まり
	54	わす れじの ゆくすゑまでは かたければ けふをかぎりの いのちともがな	忘れじ、今日を	三字 決まり
	76	わた のはら こぎいでてみれば ひさかたの くもみにまがふ おきつしらなみ	わたはら漕ぐと 雲に浮かぶ	六字 決まり
	11	わた のはら やそしまかてて こぎいでぬと ひとにはつけよ あまのつりぶね	「わたのはらや」 と人に告げよ	六字 決まり
	20	わび ぬれば いまはたおなじ なにはなる みをつくしても あはむとぞおもふ	詫びを尽くして	二字 決まり
	26	を ぐらやま みねのもみぢば ところあらば いまひとたびの みゆきまたなむ	小倉 いまひと	二字 決まり